

数学

大阪大学 [文系] (前期)

<全体分析>

試験時間 90 分 解答問題数 3 題

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

近年頻出の積分法・確率が出題されなかった。

その他トピックス

3は理系との共通問題。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	二次関数 三角関数	数学 I 数学 II	三角関数で表現された二次方程式の解の配置	標準
2	対数関数 微分法	数学 II 数学 II	底の変換公式 三次関数のグラフと最大・最小	標準
3	平面ベクトル	数学 B	内積で表された領域	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年融合色の強い問題が多いので、そのような問題も含め広範囲に練習しておきたい。また、今年度は出題されていないが確率や積分法も頻出分野である。しっかり訓練を積み理解を深めておこう。